

連絡先：自動車局審査・リコール課リコール監理室  
 TEL 03-5253-8111 内線 42354  
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成30年2月1日

|                                  |  |         |           |
|----------------------------------|--|---------|-----------|
| リコール届出番号                         | 4172   | リコール開始日 | 平成30年2月2日 |
| 届出者の氏名又は名称                       | マツダ株式会社<br>代表取締役社長 小飼 雅道<br>問い合わせ先：マツダ（株）コールセンター<br>TEL 0120-386-919   |         |           |
| 不具合の部位（部品名）                      | ① 原動機（エンジン制御コンピュータ）<br>② 原動機   |         |           |
| 基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因 | ① ディーゼルエンジンにおいて、エンジンの保護制御が不適切なため、無負荷状態でアクセルを全開した際に燃焼異常が発生しても、エンジン保護機能が作動しない。そのため、燃焼異常により燃焼圧力が上昇し、最悪の場合、エンジンが破損するおそれがある。<br>② ディーゼルエンジンにおいて、低車速で加減速する走行を繰り返すと、燃焼時に発生する煤の量が増え、インジェクタ噴孔部に堆積し、燃料の噴霧状態が悪化することで、さらに煤の量が増え、排気側バルブガイド周辺に堆積することがある。そのため、排気バルブが動きにくくなり、圧縮低下による加速不良や車体振動が発生するとともに、エンジン警告灯が点灯あるいはグローランプが点滅し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある。 |         |           |
| 改善措置の内容                          | ① 全車両、エンジン制御プログラムを対策プログラムに修正するとともに、エンジンおよびDPF（黒煙除去フィルタ）に堆積した煤を清掃する。<br>② 使用者に当該不具合を周知し、エンジン警告灯が点灯あるいはグローランプが点滅した場合は、速やかに点検入庫するよう促す。また、点検入庫した場合には、エンジン制御コンピュータ等を点検し、排気バルブのバルブスプリング、インジェクタを無償で交換するとともに、エンジンおよびDPF（黒煙除去フィルタ）に堆積した煤を清掃する。  |         |           |
| 不具合件数                            | ① 21件<br>② 720件  | 事故の有無   | 無         |
| 発見の動機                            | 市場からの情報による   |         |           |
| 自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置    | ・使用者：ダイレクトメール等で通知する。<br>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。<br>・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo. 4172のステッカーを貼付する。   |         |           |

| 車名  | 型式        | 通称名   | リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間                               | リコール対象車の台数 | 備考                   |
|-----|-----------|-------|---|------------|----------------------|
| マツダ | LDA-DJ5AS | 「デミオ」 | DJ5AS-100009～DJ5AS-302568<br>平成26年11月4日～平成29年10月27日 | 13,639     | ① 13,631<br>② 13,639 |
|     | LDA-DJ5FS |       | DJ5FS-100032～DJ5FS-312015<br>平成26年8月5日～平成29年10月30日  | 73,319     | ① 73,208<br>② 73,319 |

| 車名  | 型式        | 通称名    | リコール対象車の車台番号の<br>範囲及び製作期間                            | リコール対象<br>車の台数 | 備考                     |
|-----|-----------|--------|--|----------------|------------------------|
| マツダ | LDA-DK5AW | 「CX-3」 | DK5AW-100027～DK5AW-203764<br>平成26年12月16日～平成29年10月28日 | 17,728         | ① 17,670<br>② 17,728   |
|     | LDA-DK5FW |        | DK5FW-100053～DK5FW-208913<br>平成26年12月16日～平成29年10月28日 | 42,438         | ① 42,242<br>② 42,438   |
|     | LDA-BMLFP | 「アクセラ」 | BMLFP-100002～BMLFP-100356<br>平成29年8月1日～平成29年10月30日   | 355            | ① 341<br>② 355         |
|     | LDA-BMLFS |        | BMLFS-100011～BMLFS-111454<br>平成28年5月26日～平成29年10月30日  | 11,306         | ① 11,248<br>② 11,306   |
|     | (計6型式)    | (計3車種) | (製作期間の全体の範囲)<br>平成26年8月5日～平成29年10月30日                | (計158,785台)    | ① 158,340<br>② 158,785 |

(備考) 本届出②は、平成28年9月1日付け届出番号「3885」のリコール届出において、新たな原因が判明したため、リコールを実施するものである。

**【注意事項】**

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。